

「心に花 人に愛 奉仕によるこびを」

会長 佐藤 佳朗



THE WEEKLY REPORT  
2010~2011

# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2722回 例会  
プログラム  
1年を省みて  
No. 2566 6月16日(木)

## 次週以降の予定

6月23日(木) 休会  
6月30日(木) 休会  
7月7日(木) 新役員・理事就任挨拶

## 第2721回 例会報告

### 会長挨拶・報告



昨年の7月1日、第2673回の例会で始まりまして、今日が2721回の例会。本日が48回目の例会でございます。私にとって残り1回となりましたが、最後の1回も頑張りたいと思っております。

2676回の例会ではプログラム委員長さんが、スマートグリッド(ITを駆使して電力の需要と供給を監視し余剰電力の蓄電や電力不足時は消費を減らし電力の安定供給を目指す技術)について講師の方を呼んでお話を聞いております。

今、まさに東北大震災、原発事故で電気が不足しております。スマートグリッドを推進していかねばならない危機に迫っています。ロータリーでは藤田委員長さんが早めにこの問題を取り上げてくれましたが、その時にはあまり気にもしてなかったのですが、今になると、このスマートグリッドを進めていかないと大変なことになると実感しております。

### 幹事報告



1. 今年度、担当例会をすべて終了した委員長さんは、年間活動報告書の提出をお願いいたします。本日が最終締め切り日です

2. ネームプレートは各自のロッカーへ、ロータリー資料が沢山入っている方もおられますので、佐藤年度のものも麗に片付けること。

3. 次回16日は佐藤年度最終例会でございます。親睦委員会からもご案内があるかと思いますが「1年を省みて」、三浦華園での例会です。全員の参加をお願いいたします。

4. 18日ゴルフ同好会主催の佐藤年度最後のゴルフコンペが予定されています。多くの参加を、またマツオでの懇親会だけでも結構です。多くの方の参加をお願いいたします。

### 委員会報告



次年度委員会 宮崎 英彰副幹事

1. 次年度幹事よりお知らせです。本日6月9日6時30分より次年度第6回目の理事会を行います。

2. 野球大会実行委員会は本日の

## 2011年 6月9日(木)

理事会で承認を得られましたら、6月13日6時30分、スエヒロで実行委員会を行いますので御指名の方はお集まり下さい。



親睦委員会 中島 誠一副委員長

16日(木)本年度最後の夜間例会でございます。「1年を省みて」ホテル三浦華園にて6時から開催いたします。今のところ70名の出席です。今回は各人の料理となり出

欠の連絡のない方の席は用意できませんので、確実に出欠を提出願います。

## 先週のプログラム

### 【米山記念奨学会担当例会】

#### ゲスト卓話



米山記念奨学会 戎谷 侑男委員長

本日は私たちの先祖は縄文人であるのかな？その縄文人はどこから来たのかな？をテーマに、環境にやさしい生活をし、狩猟民族でありました縄文人の暮らしぶり、

そして現在に至るお話をお聞かせいただきたいと思います。北海道立埋蔵文化センター畑常務理事様にお願いしております。簡単な略歴ですが、札幌にて生誕、南高校卒業後、北海道教育大学に入学され無事、順調に卒業。道庁入庁後、北海道教育庁文化課に勤務、その間北海道埋蔵文化センターに派遣され、高速道路、新千歳空港、津軽海峡線、美利河ダム等の建設に伴い遺跡の緊急発掘調査を担当。教育庁文化課に復職後、平成19年に退職。埋蔵文化センターの常務理事に就任、国際大学の講師も兼任。海外ではソビエト、香港、中国、チリ共和国の発掘調査にも行かれ、平成15年にはチリのイースター島モアイ像の修復等にもご尽力。文化財の保護活動についてはアイヌ文化を含め、カリンバ遺跡、モヨロ貝塚等々の発掘に力量を発揮。趣味はプロ野球、ボクシングの観戦、発掘調査では権威の先生であり、ゴルフ場の開発などで遺跡があるかどうかを調査の際、遺跡を残す方と開発側の間に入って非常に苦労をしたことからゴルフは

しないと言うことだそうです。それでは早速、畑先生に「縄文人はどこから来たのか？」について貴重なお話を聞きたいと思います。

## 「縄文人はどこから来たのか？」



北海道立埋蔵文化財センター  
常務理事 畑 宏明様

2003年9月、それは北海道と北東北の第7回4道県知事サミットから始まった。この年、各道県に広く分布している縄文遺跡を紹介した「北の縄文文化回廊づくり」が合意されました。具体的には、

- (1)「回廊づくり」の実践プログラムの作成、
- (2)「回廊」の情報発信、
- (3)「北の縄文文化学」交流会議の開催

を行うこととなりました。その結果、2007年の第11回知事サミットでは、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産暫定一覧表登載に係る共同提案を行う運びとなりました。

このころ、道内では森町で発見された鷲ノ木遺跡の環状列石が国の史跡に指定され、函館市の土偶が道内初の国宝に指定されるなど、縄文に関する関心が高まったときでもありました。そのような中、縄文遺跡の世界遺産登録を民間の側から支援する目的で、2007年には「北の縄文文化を発信する会」も発足しました。

その後2009年には、4道県の努力により青森の三内丸山遺跡、秋田の大湯環状列石、岩手の御所野遺跡、北海道の大船遺跡、鷲ノ木遺跡、入江・高砂貝塚、北黄金貝塚など15遺跡が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として国内暫定登録となり、2015年の世界遺産登録を目指すこととなりました。

この間、「北の縄文文化を発信する会」でもホームページやブログを開設し、洞爺湖サミット会場での国宝「土偶」の展示を支援するなど、広く縄文遺跡や縄文文化の情報発信を行ってまいりました。昨年は「縄文人はどこから来たか？」のテーマでシリーズの公開講座を開催したところです。

特に、東京国立科学博物館の篠田謙一先生による「日本人になった祖先たち」のご講演は大変な好評をえました。これは、NHKブックスで出版されておりますが、母系の遺伝子であるミトコンドリアDNAの研究によれば、現代人はアフリカから世界に拡散したものであり、その過程で日本列島には南や北から何度も人びとがやってきたことを示しています。その結果、日本列島に住んでいた縄文人は必ずしも均質な人びとではなかったということがわかりはじめてきたそうです。

また、北海道の縄文人は関東縄文人よりもアイヌと近縁関係にあるそうです。

北海道の先史文化は、縄文文化の後弥生文化に移行せず、縄文的な要素の強い「続縄文文化」そして「擦文文化」へと続きましたが、北海道縄文人とアイヌの近縁関係はそのことと関係するのかもしれませんが。



## ニクニコBOX

佐藤 佳朗会員

何とか48回の例会をクリアしました。あと1回ガンバリマス！

三品 優次会員

昨日は私の誕生日でした。花街で佐藤会長・西田ニクニコ副委員長・川口さん他大勢の女性にお祝いしていただいて。

川口 義弘会員

結婚祝をいただく予定です！

松橋 和博会員

結婚祝をいただいて。

戎谷 侑男会員

担当例会を終えて。佐藤会長・西井副会長、まさに縄文人に相応しいと思った。

橘 昭恵

本日はお休みをいただき申し訳ありません。鳥取で還暦を迎え戻って参ります。

会長／佐藤 佳朗  
幹事／西村 恒則  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。